

設 置
指定作業場 届出書
変 更

年 月 日

（宛先） 大田区長

郵便番号（ - ）
住 所

氏 名

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）
電話番号（ - - ）

第89条

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 第90条の規定により、関係書類を添えて、

次のとおり届け出ます。

既設置番号等 （変更届の場合）	設置番号・年月日	第 号 年 月 日			
	変更事由	1 指定作業場 の 種 類	2 作業の 方 法	3 建物・施設の 構造又は配置	4 ばい煙等の 防止の方法
指定作業場の名称					
指定作業場の所在地					
指定作業場の種類				病院にあって は病床数	床
地域等	用途地域		水域		
自動車の出入口が 接する道路の幅員	m	50メートル以内の学校・ 病院等の所在位置		△別紙（ ）のとおり	
作業時間	時から 時まで（ 時間）				
工事着工予定	年 月 日	工事完成予定		年 月 日	
従業員数 （常用雇用者数）	（ 人 人）	廃止予定		年 月 日	
連絡先	所 属 氏 名 電話番号 ファクシミリ番号				
※受付欄					

- 備考
- 1 ※の欄には、記入しないこと。
 - 2 △印の欄には、届出書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
 - 3 変更届として使用するときは、「指定作業場の名称」及び「指定作業場の所在地」以外の欄には、変更のある欄のみ記入すること（添付する別紙についても同じ。）。
 - 4 「指定作業場の種類」の欄には、条例別表第2に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。
 - 5 「用途地域」の欄には都市計画法第8条第1項第1号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第7 4の部の付表の水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
 - 6 「診療所」は、患者を入院させるための施設を有するものに限る。

敷地・建物の状況	建物・施設の配置	△別紙（ ）のとおり			
	敷地面積 (㎡)				
	作業場の棟別構造・面積	棟の名称			
		用途			
		階数			
		構造			
		建築面積 (㎡)			
作業場面積 (㎡)					
主たる施設の能力等	種類				
	公称能力				
	動力(kW)				
	台数				
	別紙番号				
	構造・使用の方法	△別紙（ ）のとおり			
事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質					
作業の方法					
公害防止の方法					

備考 1 「建物・施設の配置」の欄及び「構造・使用の方法」の欄の別紙は、施行規則別記第16号様式の別紙のうち、該当する様式を使用すること。

2 「事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第3の各号に掲げる物質又は別表第4の各号に掲げる物質のうち事業場で取り扱っているものを記入すること。

特定有害物質を取扱う事業者の方へ

指定作業場等の廃止又は主要設備の除却時には、作業中の特定有害物質の取扱状況について報告が必要になります。そのため、特定有害物質を含む製品を製造、使用、廃棄する場合は、環境確保条例第118条第1項に基づき、その記録を保管してください。取扱いがあった場合、環境確保条例第116条第1項に基づき、土壌調査が必要になります。

自 動 車 駐 車 場
自 動 車 タ ー ミ ナ ル
ガソリンスタンド、液化石油ガススタンド、天然ガススタンド
自 動 車 洗 車 場

収容台数・停留台数 ・同時給油台数 ・洗車台数	総数		大型車 中型車 小型車	
一日の出入台数				
貨物の種類				
洗浄機の型式			原動機の定格出力	
貯蔵タンクの基数			貯蔵総量 (単位)	(kl・t・m ³)
各貯蔵タンク毎の 貯蔵物質名	タンクの内容積等 (単位)	炭化水素系物質の排出防止設備		
		設備の有無	設備の種類	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
	(kl・t・m ³)	有・無	1 ベーパーリターン 2 その他()	
敷地内建物及び施設の配置並びに自動車の通行経路図				

- 備考 1 指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。
 2 この様式各欄に記入しきれないときは、図面、表等を利用すること。
 3 貯蔵物質が液化石油ガスの場合、「タンク内容積等」欄には重量で記入すること。